



ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

□会 長／長嶋 明彦 □副会長／川島 啓晃

□幹 事／依田 邦彦 □副幹事／三浦 新介

例会日：毎週月曜日 18:00～19:00

例会場：静岡グランドホテル中島屋

事務所：静岡市葵区追手町2-12 5F/ TEL 054-254-5611

2020-2021年度RI会長 ホルガー・クナーク「Rotary Opens Opportunities／ロータリーは機会の扉を開く」

令和3年3月22日(月)

No.1396
第1491回 例会

ホームページ
アクセス数

2021.3.23

46951

ゲ
ス
ト

今回ゲストはありませんでした。

♪ 本日のロータリーソング「それこそロータリー」 ●ソングリーダー：松下 慎一 会員

長嶋 明彦 会長の時間



今まで会長の時間では、今の時期ですと「静岡まつり」「花見」などの話をしていますが、ある会員から会長の時間で「ロータリーの話聞いたことがない」との指摘を受けまして、自分でも話した記憶がありませんので、ロータリーの話ではなく、ロータリーからのお願いとしての話をさせて頂きたいと思います。皆さんが生活をするうえで、多い少ないを別にして、買い物をすると思います。その際、ロータリーカードで支払って頂きたいと思い、カードの説明をさせて頂きます。カードには「スタンダードカード」「ゴールドカード」の二種類あります。ゴールドカードは年会費税込11,000円、スタンダードカードは年会費がかかりません。購入額の0.3%がロータリー日本事務局へ振り込まれ、ポリオ根絶活動などに活用されます。どうぞ会員の皆様には、ロータリーカード入会を宜しくお願いいたします。



■ 幹事報告 依田 邦彦 幹事

- ・3/29 休例会
- ・4/5 例会・理事会(卓話・柳瀬会員)
- ・4/12 休例会
- ・4/19 例会(卓話)
- ・4/26 例会(クラブ協議会)
- ・4/25 地区協議会(You Tubeライブにて開催)

■ スマイル報告 山田 智稚 会員

■ 会員からのスマイル 総額／17,000円

- 長嶋会員、川島会員、依田会員、三浦会員、溝口会員、川田会員、安藤会員、是永会員、山田会員、岡崎会員
..... スマイルマンデーします。
- 針谷会員 白内障手術、先週は左目、明日右目の手術です。よく見えます。
- 小澤会員 カ エイシン君がめでたく東北大学に合格しましたのでスマイルします。
- 望月威男会員 本日は卓話をさせて頂きましてありがとうございます。
- 岡本会員 春の高校野球地区大会が始まりました。
- 花森会員 長男が高校に受かりましたのでスマイルします。

～私の話、東日本大震災とその後～



昨日はサリン事件があった日から26年、阪神大震災は26年前の1月17日でした。その年の6月12日にこのクラブに入会させて頂きました。静岡市社会福祉協議会への寄付を26歳から始めて、52年間毎月、給料をもらったら寄付をしています。その事を静岡の同級生の森さんが知っていて、「寄付もいいけど、世界的な社会奉仕団体で活動に入ったほうが良い」と言っただき、入会することとなりました。出張が多かったため、福島に行ったときは福島のロータリークラブに出席するなどメイキャップを利用して、今まで100%出席となっています。10周年の時、駿府城公園の黒松植樹に疑問を持って退会も考えましたが、金丸さんのお父さんが引き止めてくれて、退会を思いとどまりました。第25期(2010-2011年)に会長をやらせて頂きました。当時「4つのテスト」唱和をやっておりませんでしたが、私の時から唱和を開始することになりました。また、本会計の間違いが見つかり、特別会計から振り替えて修正しました。GSEの外国人留学生を受け入れ、浅間神社と久能山を案内して喜んでもらいました。そして、3月11日。静岡市7クラブの合同例会後、14時30分頃家に帰りましたが、14時46分地震が発生しました。4月に台湾中和RCに23人で訪問予定でしたが、地震の影響があり6名で陳中統さんのガバナー就任祝いに出席してきました。その時、中和RCから50万円の震災義援金を預かり、当クラブからの85万円を合わせて日本赤十字社へ寄付しました。5年後には山梨の当時54歳だった野口ガバナーのもと、ガバナー補佐をやらせてもらいました。

3月11日東日本大震災がおこりました。うちの会社は福島県に3箇所、工場と事務所あります。当初は原発が爆発するとは思いませんでした。12日の爆発では20kmくらい離れた場所でも爆発音が聞こえたそうです。ベントにより爆発しなかった2号機がメルトダウンを起こしてしまいました。

避難というのは戻る場所があることを「避難」といい、放射能の避難は戻ることができない「移住」になります。「引っ越し」ということです。当社のある川内村は風の影響で近隣市町村で放射能の影響が一番すくなかったのも、翌年の4月には「帰村宣言」を出し、3,000人あまりの村でしたが、今では2,000人くらい戻っています。しかし戻った方のほとんどが65歳以上で、120人くらいいた小学生は15人程度しか戻りませんでした。

次に「除染」についてですが、まず建物など水で洗ってくれます。その水を含んだ砂利や土は袋に入れて持って行ってくれて、それで除染は終了です。3年くらい前、村長さんに聞きましたが、川内村だけで除染後の袋が55万個あるとのことでした。福島県全体では2,800万個あるそうです。放射能は運ばれただけで、無くなっているわけではありません。山に関しても、樹皮に付き、土壌を汚染しています。今現在6cm～10cmくらいの深さの場所が一番線量が高いようです。それを吸い上げるきのこ類は全部ダメです。またそれを食べるイノシシや鹿も汚染され、食べることはできません。

放射能や原子炉の話はいくらでもできますので、また機会があればお話いたします。

委員会報告

今回はありませんでした。

出席報告

柳瀬 委員長

月/日	出席者数
3月22日(月)	28名

・総会員数44名(出席義務会員38名+出席免除会員6名)

～出席率向上へのご協力をお願い致します～